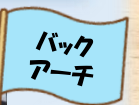


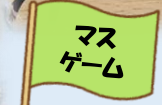
牛津高さわやか新聞

雨が心配される曇り空の下、第62回体育祭が5月1日(水)に開催されました。
今年度のテーマは「SHINE～最高の光をその手に～」
赤団(生活経営科)、白団(服飾デザイン科)、青団(食品調理科)、どの団も優勝を目指して一生懸命に取り組み、最高のパフォーマンスを披露してくれました！

学校・各学科の取り組みについては、ホームページをご覧ください。
牛津高校公式Instagramでも、学校生活の様子などを配信しています。
★QRコードはこちら！⇒⇒⇒



競技



応援合戦



体育祭を終えて、分団長さんからコメントをいただきました！

1分団

今年は3年生最後の行事でした。大学生になったり、社会人になったりすると、体育祭もすることはなくなるし、集団行動や大人数で集まって一緒に何かをすることもなくなると、とても悲しかったです。

私は団長に決まってから以前より責任感を持つようになりました。初めの頃は練習時間が全然なく不安なところもあったけれど、本番終わった後はみんなが笑顔になっていました。困りごとや不安なことがあったらリーダーの3年生を中心に話し合いながら、良いものを作るように頑張ってきたので、練習も含めすごく楽しくやり遂げることができました。全員が一生懸命に種目に取り組む姿、各分団が団結して一体感あふれる姿、クラス関係なく必死に応援する姿などいろんな場面でみんなの本気が伝わってきました。

私は、本番中に演舞の振りが飛びそうになりましたが、大きい声でやりきれてよかったし、その後たくさんの方が良かったよと声を掛けてくださってとても安心しました。

全体をまとめることは大変だったけれど、周りの助けがあったからこそ私の役目を果たすことができました。目標であった3連覇を最後の体育祭でできて本当に良かったです。今までの中で1番最高な体育祭でした。そして今までで1番緊張した体育祭でした。

白銀才華

2分団

例年とは異なる時期での開催で、練習期間も短かったため授業や課題などと両立することがとてもむずかしく思いました。練習期間中に計画を立てて進めていた中、思うようにリーダーの子たちに伝わらず副団長や責任者とぶつかることもありました。その時に感じたのは、コミュニケーション不足なことです。きちんと話し合いの場を設けても、数人しか参加をしない、話の理解速度が異なり、誤解したまま終わってしまうということが多々ありました。また、3年にしか伝わっていないこともあり、1、2年生への連絡も徹底しておくべきだと感じました。体育祭期間で達成できたと思うことは、服飾デザイン科にどんな人たちがいるのかを把握できたと思います。そのため、1、2年生から挨拶をしてくれたり声をかけてくれたり質問してくれたりなど「縦のつながり」というものを深められたと思いました。

3-2は16人で全員が動かなくてはいけませんでしたが、さすがに仕方なくリーダーになったという人も多くはないけれど、いたのでこんな感じで大丈夫なのかと思ってしまいました。さすがに体育祭本番は、1、2年生に気を配って次の競技への呼びかけや体調不良の人はいないかなど気にかけてくれて成長、成功の芽生えが見て取れました。当日に変更や、急遽入れたこともあったのに全員が臨機応変に対応していたので良かったです。

炉火純青

3分団

頑張った点は、応援、マスゲーム、衣装などの責任者と協力して、連携を取り、短い練習期間の中で、本番までにすべて終わらせられるようにしたところや、1年生、2年生に分かりやすく、そして、約120人近くの人数をまとめられるようにいると考えたところです。

苦労した点は、最初のほうでうまく全体をまとめきれずに雰囲気をとて悪くさせてしまったところで、上手に説明することや、指示の仕方が難しく、とても大変でした。

結果としては、3位というとても悔しい結果となってしまいましたが、とても楽しく最高でした。



竜騰虎閔